

よこすか研究航海報告

東京大学大気海洋研究所

\* 航海番号 YK21-06S 次研究航海

\* 航海名称

小原レグ:

(和文)背弧海盆拡大プロセスの多様性の解明: 四国海盆西部海洋コアコンプレックスの潜航調査

(英文) Understanding variations in mode of backarc basin spreading: a Shinkai dive study at the oceanic core complex in the western Shikoku Basin

および

石塚レグ:

(和文)西フィリピン海盆上での伊豆小笠原島弧創成の可能性: 島弧-拡大軸会合部潜航調査

(英文) Possible generation of Izu-Bonin arc within the West Philippine Basin: a Shinkai dive study at an arc-rift junction area

\* 観測海域

(和文) 隼新メガムリオン(四国海盆)

(英文) Sui-Shin Megamullion, Shikoku Basin

および

(和文) 南奄美海底崖(北大東海盆)

(英文) Minami-Amami Escarpment, Kita-Daito Basin

\* 航海期間 令和3年4月9日(金)~令和3年4月23日(金)

\* 出港日時・場所 4月9日9時 横須賀港

\* 入港日時・場所 4月23日10時 横須賀港

\* 寄港期間・場所 無し

\* 研究課題 小原課題:「背弧海盆拡大プロセスの多様性の解明: 四国海盆西部海洋コアコンプレックスの潜航調査」

および

石塚課題:「西フィリピン海盆上での伊豆小笠原島弧創成の可能性: 島弧-拡大軸会合部潜航調査」

\* 主席研究員(氏名・所属・職名・e-mail アドレス ◎は@)

小原泰彦 海上保安庁海洋情報部・海洋研究室長・ohara@jodc.go.jp

\* 研究内容, 主調査者(e-mail アドレス), 観測項目

1. 四国海盆海洋コアコンプレックス(替新メガムリオン)の潜航調査、小原泰彦(ohara@jodc.go.jp)、しんかい6500による潜航調査、地形調査、地磁気観測
2. 南奄美海底崖の潜航調査、石塚治(o-ishizuka@aist.go.jp)、しんかい6500による潜航調査、地形調査、地磁気観測

\* 乗船研究者氏名・所属・職名

小原泰彦・海上保安庁海洋情報部・海洋研究室長(および海洋研究開発機構海域地震火山部門・招聘上席研究員および名古屋大学環境学研究科・客員教授)

石塚治・産業技術総合研究所・首席任研究員

針金由美子・産業技術総合研究所・主任研究員

山下浩之・神奈川県立生命の星・地球博物館・主任学芸員

竹林知大・名古屋大学大学院環境学研究科・博士学生

富岡優貴・名古屋大学理学部・修士学生

二村康平・名古屋大学理学部・修士学生

股村祐希・東北大学大学院理学研究科・修士学生

下田玄・産業技術総合研究所・グループ長

Christopher E. Conway・産業技術総合研究所・研究員

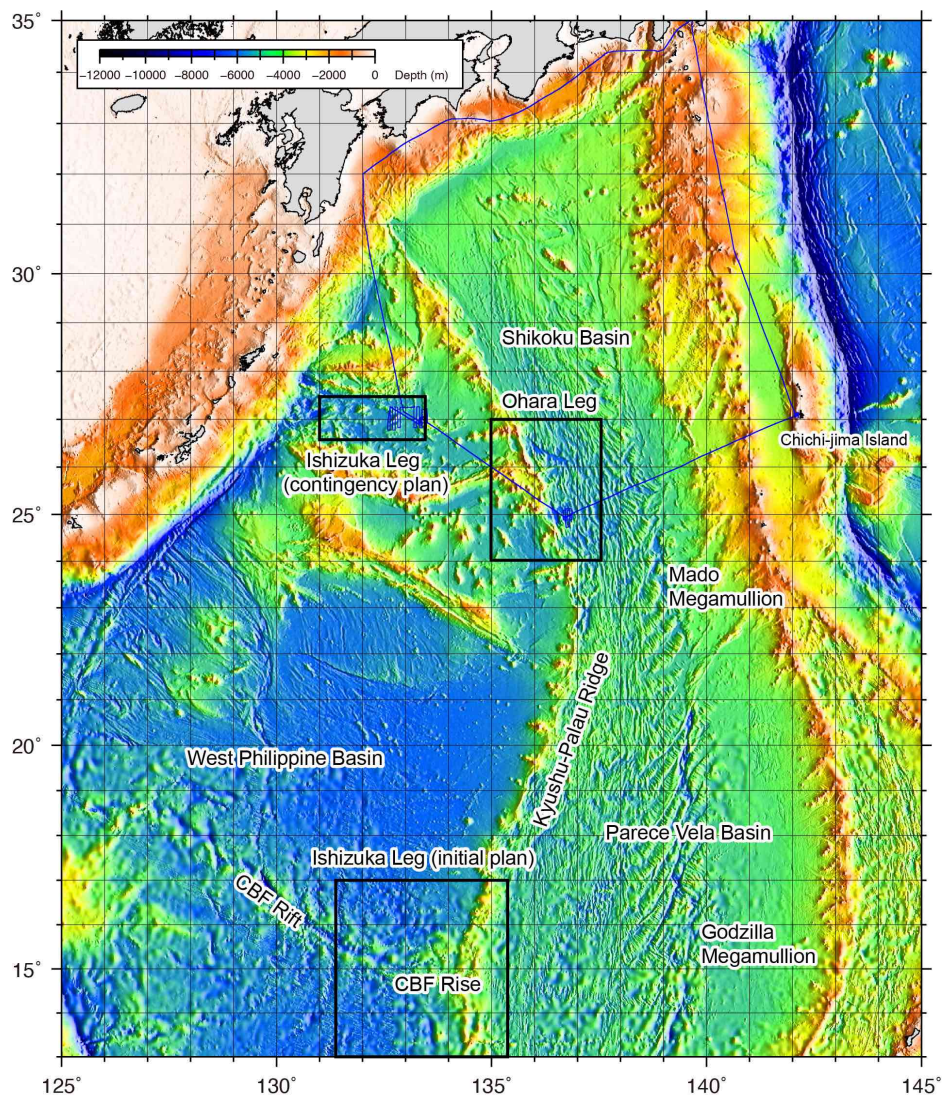
谷健一郎・国立科学博物館・研究主幹

海野進・金沢大学・理工研究域地球社会基盤学系・教授

内山 涼多・東海大学院海洋学研究科・修士学生

那須俊勝・日本海洋事業株式会社・観測技術員

\* 航跡・測点図



以上